

[ここに入力]

留学体験レポート

田澤怜生

私は韓国のソウルにあるキョンヒ大学に 4 か月間留学しました。この留学を通して学んだことや気づいたことがたくさんありました。韓国で出会った人々皆さんが自分にとって大きなプラスとなるような存在でした。

最初の 3 週間は日本人が夏休みを利用してくる人が多かったためクラスもほとんどが日本人でした。授業も基礎から初めたため自分にとっては日本で学習したい復習になりました。

この 3 週間のプログラムが終わると正規課程である 3 か月のプログラムが始まりました。クラスには多くの外国人がいてとても仲良くなりました。今でもクラスの友達とは韓国語で連絡を取り合っていて韓国語を忘れないための役に立っています。3 週間のプログラムとは違い覚える内容が多く大変でした。テストが中間と期末で 2 回ありました。テストは文法、読解、リスニング、スピーキング、ライティングのテストがありました。リスニングは日本人が得意らしく成績は良かったのですが読解のテストでは分からない単語が多く出てきて思うような点数が取れませんでした。期末の試験対策の時に単語を重点的に覚えるとすべての強化の点数が上がったので大事なのは語彙力だと自分は感じました。

休日にはよく KPOP のグループがサイン会などを各地でおこなっていてそれを見に行くのがとても楽しみでした。サイン会でサインを貰うには対象である CD をたくさん買わないといけなのですが自分が見た中で約 50 枚の CD をレジに持っていく女子高生がいて本当にびっくりしました。また多くの人が一眼レフのカメラを持っていてまるでプロのカメラマンのようでした。また韓国は音楽番組が沢山ありその閲覧を無料でできます。自分はいける機会がなくて行けませんでした。韓国の音楽が好きな人はとても魅力的だと思います。

韓国の食べ物ですがやはり辛い物が多いです。自分は辛いのが好きなので大丈夫でした。辛いのが苦手という人もいます。多くの飲食店は本当にメニューが充実しているので心配することはないと思います。

留学を終えて言えることは本当に充実した 4 か月間だったことです。韓国語の勉強もそうですが食文化や音楽など勉強以外にも多くのことを学べたと感じています。本当にこの留学は自分の為になることが多く参加して良かったと思います。こうして自分が良い経験ができたと言えるのも支えてくれた先生方、一緒に留学に行ったみんながいたからだと思っています。本当にありがとうございました。